

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號六第 卷五第

行發日一月二十年六正大

論說

社會學ト社會科學(一).....	文學士	高田保馬
租稅ニ於ケル強制ト任意.....	法學博士	神戸正雄
總同盟罷工論.....	法學士	河田嗣郎
經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(三).....	法學博士	田島錦治
墨子ノ經濟思想(三)完.....	文學士	小島祐馬
西歐主義(三).....	文學士	米田庄太郎
土佐藩ノ地割制度(三).....		小野武夫
時事問題		
日米協定ト日本ノ經濟.....	法學博士	神戸正雄
米國ノ貿易制限策.....	法學博士	戸田海市
雜錄		
佛國ノ戰時食料政策.....		山本美越乃
英國戰前ノ海運及貿易情況.....	法學士	小島昌太郎
獨逸例ニ觀タル英國戰時ノ勞働者階級.....	法學士	櫛田民藏
最近獨逸經濟思潮.....	法學博士	神戸正雄
日英ノ物價趨勢.....	法學士	河田嗣郎

違ヲ認ムルコトガ出來タ。然ルニ其ノ後今日ニ至ル狀況ヲ視レバ、英國ノ物價騰貴ノ依然トシテ其勢衰ヘザルニ對シテ、我國ニ於テモ亦昨年下半年以來漸次ニ騰貴ノ勢ノ加ハリ來リ、彼我ノ隔懸ノ大イニ減少サルルニ至リ、此勢ヲ以テ進マバ餘リ遠カラザル内ニ、我ハ彼ニ追及スルニ至ルヤモ計リ知ル可ラザル有様トナツテ來タ。是ハ實ニ我國ノ經濟一般ニ取リテ大イニ注意ス可キ重大事實タルヤ論莫シ。

二 先ヅ試ニ茲このみすと誌ノ物價指數ニ由リテ英國ノ物價狀況ヲ示セバ左表ノ如シ。

穀物及其他ノ纖維 雜 合計 歩合
肉類 食料品 品 物

基準(一九〇一—五年平均)	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	8000	8500	9000	9500	10000
一九一四年	553	1023	1511	2073	2635	3197	3759	4321	4883	5445	6007	6569	7131	7693	8255	8817	9379	9941	10503	11065
同 七月末日	579	1048	1536	2108	2670	3232	3794	4356	4918	5480	6042	6604	7166	7728	8290	8852	9414	9976	10538	11100
同 十二月末日	579	1048	1536	2108	2670	3232	3794	4356	4918	5480	6042	6604	7166	7728	8290	8852	9414	9976	10538	11100
一九一五年	577	1046	1534	2106	2668	3230	3792	4354	4916	5478	6040	6602	7164	7726	8288	8850	9412	9974	10536	11098
同 十二月末日	577	1046	1534	2106	2668	3230	3792	4354	4916	5478	6040	6602	7164	7726	8288	8850	9412	9974	10536	11098
一九一六年	577	1046	1534	2106	2668	3230	3792	4354	4916	5478	6040	6602	7164	7726	8288	8850	9412	9974	10536	11098
同 七月末日	577	1046	1534	2106	2668	3230	3792	4354	4916	5478	6040	6602	7164	7726	8288	8850	9412	9974	10536	11098
同 八月末日	577	1046	1534	2106	2668	3230	3792	4354	4916	5478	6040	6602	7164	7726	8288	8850	9412	9974	10536	11098
同 九月末日	577	1046	1534	2106	2668	3230	3792	4354	4916	5478	6040	6602	7164	7726	8288	8850	9412	9974	10536	11098

日英ノ物價趨勢

河田 嗣 郎

一 日英ノ物價比較ニ關シテハ吾人ハ曩ニ本誌第三卷第三號ニ於テ開戦以來昨年四月ニ至ル迄ノ狀況ヲ示シテ置イタ。而シテ當時ノ狀態ニ在リテハ我國ニ於ケル物價騰貴ノ勢ハ未ダ餘リ顯著ナルモノ莫ク、英國ニ於ケル騰貴ノ勢ノ既ニ甚ダ著明ナリシニ比シテ、彼我ノ間大イナル相

1) The Economist, Sept. 8. 1917. (No. 3863)

同 十月末日：... 二四〇・七
 同 十一月末日：... 二七〇・五
 同 十二月末日：... 二九〇・三
 一九一七年
 一月末日：... 一五〇・〇
 二月末日：... 一三〇・〇
 三月末日：... 一四〇・〇
 四月末日：... 一五〇・〇
 五月末日：... 一六〇・〇
 六月末日：... 一七〇・〇
 七月末日：... 一八〇・〇
 八月末日：... 一九〇・〇
 右表ニ照シテ是ヲ觀レバ、騰貴歩合ノ最モ大ナルモノハ纖維品ニシテ、次ハ穀物肉類其他ノ食料品デアル。今諸種貨物ノ合計ニ於テ開戦直前ノ月タル一九一四年七月末日ノ相場ニ對シテ其後ノ騰貴歩合ヲ見レバ、其ノ指數一六・六ニ對シテ一九一四年末ニハ一二七・三トナリ一九一五年末ニハ一六五・一トナリ、一九一六年末ニハ二二三・〇トナリ、本年八月末ニハ上ボリテ二五七・一ト云フ指數ヲ見ルニ至ツタ。即チ本年八月末ノ物價ハ戦前物價ニ對シテ正二十二割ノ騰貴ヲ爲シタ次第デアル。

雜錄 日英ノ物價趨勢

三 翻テ我國ニ於ケル物價狀況如何ニト見ルニ東洋經濟新報社ノ指數ニヨレバ左表ノ如キ有様ヲ呈シテ居ル。(同誌七八六號ニ據ル)

基準	穀物	其他ノ織物及食料品	同原料品	金屬	雜品	平均
大正二年一月末	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
大正三年一月末	87.0	76.8	76.8	92.2	99.2	87.0
同 七月末	88.0	88.0	88.0	96.2	103.7	88.0
同 十二月末	86.2	86.2	86.2	104.9	112.2	86.2
大正四年七月末	78.2	78.2	78.2	102.2	112.1	78.2
大正五年七月末	75.5	75.5	75.5	102.2	112.1	75.5
同 八月末	76.7	76.7	76.7	102.2	112.1	76.7
同 九月末	81.0	81.0	81.0	102.2	112.1	81.0
同 十月末	81.0	81.0	81.0	102.2	112.1	81.0
同 十一月末	102.0	102.0	102.0	112.1	112.1	102.0
同 十二月末	100.0	100.0	100.0	112.1	112.1	100.0
大正六年一月末	88.7	88.7	88.7	112.1	112.1	88.7
同 二月末	92.2	92.2	92.2	112.1	112.1	92.2
同 三月末	96.2	96.2	96.2	112.1	112.1	96.2
同 四月末	102.2	102.2	102.2	112.1	112.1	102.2
同 五月末	102.2	102.2	102.2	112.1	112.1	102.2
同 六月末	102.2	102.2	102.2	112.1	112.1	102.2
同 七月(申旬末)	110.1	110.1	110.1	112.1	112.1	110.1

右表ノ示ス所ニヨレバ我國ニ在リテハ最モ大ナル騰貴ヲ爲シタルモノハ英國ニ於ケルト異リ金屬類デアル。食料品及纖維品ニ至ツテハ却ツ

テ其ノ騰貴歩合ガ少イ。而シテ諸種貨物平均ノ指數ニ就キテ戰前タル大正三年七月末ノ指數ニ對スル其後ノ騰貴歩合ヲ窺ヘバ、其月ノ指數九〇・九ニ對シ大正三年十二月末ニハ下リテ九〇・七トナリ、四年末ニハ上ホリテ一二六・一トナリ、五年末ニハ一四二・八トナリ、本年七月中旬末ニハ一七八・〇トナツタ。即チ本年七月中旬ノ物價ハ戰前ニ對シ正ニ九割五分八厘ノ騰貴ヲ爲シタ譯合デアル。

四 開戰以後ニ於ケル彼我ノ物價騰貴ノ割合ヲ今少シク明瞭ニ比較スルガ爲メニ、大正三年七月ヲ基準トセル日本銀行調査ノ指數ヲ示セバ左表ノ通りデアル。紐育ノ物價指數モ併セテ示サレテアルカラ、茲ニモ其儘ニ之ヲ示スコトトスル。三者ノ比較ハ甚ダ重要デアル。

	東京	倫敦	紐育
大正三年七月……………	100	100	100
同年十二月……………	102	102	102
大正四年十二月……………	112	112	112
大正五年七月……………	127	127	127

同	八月……………	100	100	100
同	九月……………	102	102	102
同	十月……………	102	102	102
同	十一月……………	102	102	102
同	十二月……………	107	107	107
同	大正六年一月……………	107	107	107
同	二月……………	107	107	107
同	三月……………	107	107	107
同	四月……………	107	107	107
同	五月……………	107	107	107
同	六月……………	107	107	107
同	七月……………	107	107	107
同	八月……………	107	107	107
同	九月……………	107	107	107

因是觀是、我國ニ於ケル物價騰貴ノ趨勢ハ英米ニ於ケルヨリモ甚ダ遅レテ表ハレ來ツタケレドモ、過去一年間ニ於テ俄カニ其ノ速度ヲ早メ來リ、今ヤ正ニ紐育物價ノ疊ヲ摩セントシ、倫敦ノソレニモ懸テ追及セントスルノ勢ヲ示シテ居ル。是ハ洵ニ我が國民生活ニ關シテノミナラズ輸出貿易ノ今後ニ對シテモ大イナル問題タリ、障碍タラザルヲ得ナイノデアル。